

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2017年度 パフォーマンス向上会議情報(2017年11月6日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2017年11月6日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード
1	<p>【増設多核種除去装置(B)クロスフローフィルタ二次側流量調整弁の動作不良について】 増設多核種除去装置(B)クロスフローフィルタ二次側流量調整弁は操作端末では全閉表示であるが、現場弁本体では10%程度開いている状態であった。 ポジショナーの動作不良が考えられるため、今後点検・調整を行う。</p>	GIII
2	<p>【6号機 残留熱除去海水系 熱交換器(A)入ロラインブロー弁のシートリークについて】 6号機 残留熱除去海水系(A)系ポンプ試運転時に、熱交換器(A)入ロラインブロー弁よりシートリークを確認。 配管洗浄及び増し締めを実施したが改善されなかったため、当該弁下流側に設置されるスペクタクルフランジの切替によってラインを閉鎖し系統水の流出を防止。</p>	GIII
3	<p>【6号機エリア放射線モニタch1のレベル低警報発生について】 エリア放射線モニタch1(燃料プール東側北寄)についてレベル低警報の発生を確認。 調査したところ、検出器の故障ではなく計器内部機器の劣化であると思われる。 なお、周辺エリアのモニタと比較してもほぼ同様の値であり、放射線量の上昇は確認されていない。 また、指示は正常に出力されており、測定はできていることから機能に影響はない。</p>	GIII